

高速道路拡張工事
説明会②
(文責) 原田 浩明

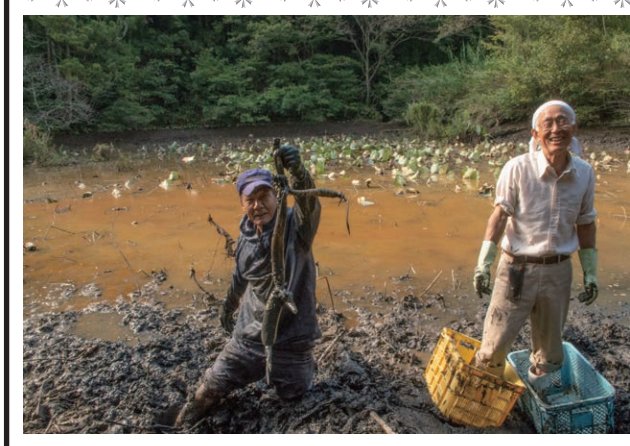


9月29日の説明会

台風24号が四国に接近して、9月29日、前回に引き続き、松山自動車道付加車線建設工事説明会が三秋集会所にて開催されました。今回は、前回8月8日の同説明会にて挙げた問題点に絞って、内容で、行政及び業者の各担当がそれぞれ説明に当たっていました。全体としては、前回より議論は深まったものの、今回も住民から厳しい質問が挙がり、回答に苦慮する場面もありましたが、それらについては、個別対応ということになりました。

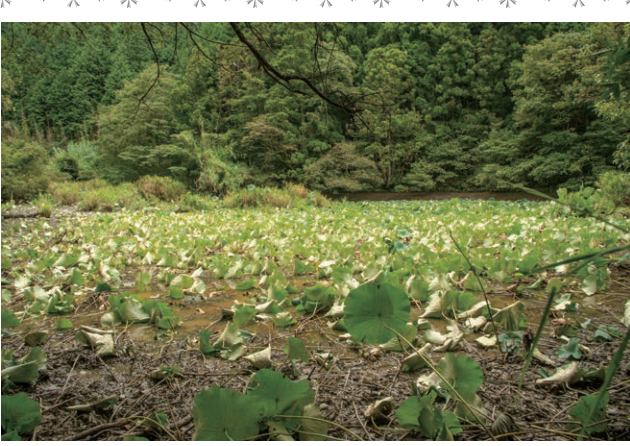
発掘せよ！
地域資源と自生蓮根
(文責) 原田 浩明

高速道路が頭上に走るという池に、蓮根が自生しているとの情報を得て、当新聞スタッフはその現場に急行。一面、緑の葉に覆われたその池は、まさに蓮根のワンダーランド。これは将来、三秋の観光地になり得るのではないかと、早速、観光地化に向けた動き



10月18日の試し掘り

を開始。当該池管理者並びに関係者からの承諾を頂き、関係者のみで行いました。この係りのみで行いました。この存在を確認出来た事を受け、先の集落活性化モデル構築事業（愛媛県）で取り組むことを提案。実際に試みを行うことと、愛媛大学の松先生をはじめとする、えひめ地域政策研究センターの職員の方をお招きし、その約3週間後の11月6日に、蓮根掘り体験を行いました。みんな泥まみれになりましたが、掘り出した蓮根を女性陣の手によって、天ぷらやきんぴらやおでん等に調理し、自生蓮



烏谷上池の自生蓮根群

根独特の食感や味を確かめながら、地域資源としての蓮根の価値やこの蓮根を絡めた、集落活性化モデル構築事業の今後の動きについて議論しました。また、この日は愛媛新聞社の記者による取材もあり、大変盛り上がり、この日の事は、後に11月9日付の愛媛新聞朝刊第1面に掲載されました。



11月6日の蓮根掘り体験



蓮根料理を食べながら地域資源について議論

明神登山ふたたび
(文責) 原田 浩明

これまで2度チャレンジしたが、何れも山頂から三秋方面への下山を果たせておらず、三秋登山ルートを確保するに至っていない。3度



明神山中腹から望む伊予灘

目の正直である今回は、万全の準備をして犬寄峠からスタート。途中、崖崩れや倒木等があつたが、昨年通つたルートでもあつたので、予定より早く山頂に到着。さて、ここからが本番。昨年、時間の都合上断念した水之明神社祠跡から、三秋方面へ下山を開始。途中、石鎚神社の分社と思われる祠を発見。それまで、周囲の山々の木々が覆われて見ることが出来なかったが、この祠の周りだけは、木々がなく開けており、青く美しい伊予灘を望むことが出来た。そして、残り300mを切った辺りから、数人が異常に深くなつて来て我々の行く手を阻む。



山頂にある水之明神社の祠跡



今回発見した石鎚神社分社の祠

秋祭り神輿
(文責) 稲多 早苗



三秋を練り歩く子供神輿

10月14日(日)、秋晴れの中、今年も子供神輿が無事に出発しました。中学生7人、小学生8人と未就学児の「わっしょい、わっしょい」という元気な掛け声に、私もワクワクと胸が高鳴りました。地域のみなさまの支えもあり、少ない人数でしたが、14時過ぎに



大人神輿稲荷神社境内にて



敬老会での会食

ウェルピア伊予で、9月23日、北山地区の敬老会があり、三秋より15名が参加しました。三秋区長さん、役員さんの手厚いおもてなしや日本舞踊に堪能なアレンジする元気で活発なおばあちゃんを誇りに思う「小学生の作文発表は印象的でした。来年も行きたいです。」

しおかぜ運動会
(文責) 稲多 早苗



みんなでオーエス!



参加者全員で記念撮影

9月2日(日)、潮風運動会が開催されました。昨年、三秋が初の総合得点1位に輝き、開会式では優勝旗返還をしました。「今年もあの喜びを再び」と参加者それぞれが、競技を楽しむ、応援し合い、全力を出して頑張りました。最後の種目、世代間交流リレーを迎えた時点で、三秋は3位以下でした。もうだめか、の気持ちで吹き飛ばすようなリレー選手の快進撃!見事、3位となり輝きました。おめでとう!!

スポーツ大会を終えて
(文責) 原田 夏子



レクバレー参加者



下三秋の亥の子

11月の亥の日、2つの組(3日折戸、15日下三秋)それぞれが、何れも山頂から三秋方面への下山を果たせておらず、三秋登山ルートを確保するに至っていない。3度

繁盛せい繁盛せい♪
(文責) 原田 浩明



グラウンドゴルフ三秋Bチーム



グラウンドゴルフ三秋Aチーム

みあき防災避難訓練
(文責) 谷本 和之



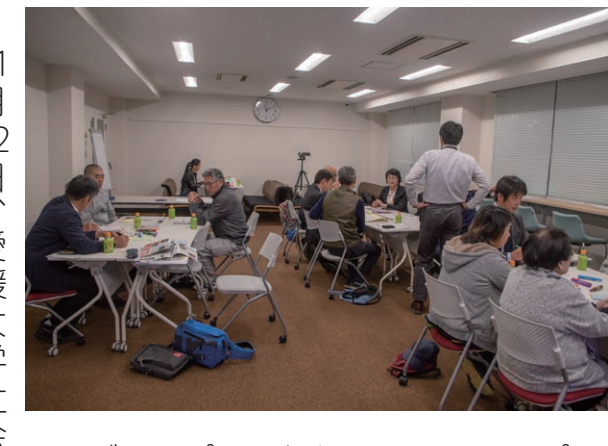
集荷場での防災訓練



参加者全員で記念撮影

で、亥の子の声の響き渡りました。古き良き伝統行事「亥の子」を、これからも大切に守り伝えていきたいですね。(※折戸組の写真は都合により間に合いませんでした。御免なさい。)

愛媛の伝統食とは
(文責) 原田 夏子



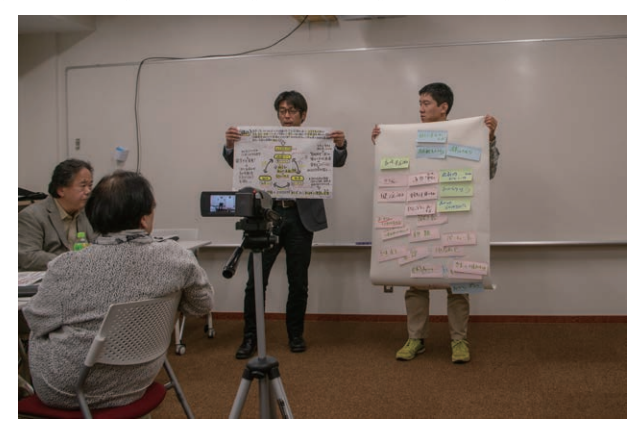
グループに分かれてワークショップ



西願寺での防災訓練



やというものは何か、ということの説明して頂き、その後、グループに分かれて、いすみについて自由に議論しました。いすみやの歴史や、南予、中予、東予によって、材料が違っていたり、なぜ最近食べられなくなったのか、この伝統食を残すべきか、どのように残していこうか、いかなどを話し合いました。最後に3つのグループがそれぞれ、話し合ったことを発表して、次回につなげるという形で終了しました。この会を通じて、人それぞれ考えが違ったり、いすみやを美味しいという人もいれば、不味いという人もいたりして、自分の考えが強いとは限らないと、これば、積極的に参加していき



最後にまとめの発表